平成30年度　学力向上グランドデザイン

南相馬市立原町第一中学校

生徒の実態
・目的意識に個人差があり、互いに高め合う姿が見られない。
・学習課題の解決に向けて継続的に努力する意欲に欠けている。

教育目標
・自ら考え正しく判断できる生徒
・心豊かで最後までやり抜く生徒
・健康で活力ある生徒

現職教育
主体的に学習し、確かな学力を身につけ、積極的に表現できる生徒の育成
（知識・技能の習得と表現活動を図る学習活動の工夫）

めざす生徒像

平成３０年度　重点目標
互いの良さを認め、共に高め合う生徒

Plan

「基礎的・基本的な内容の確実な定着のための指導の充実」
○基礎的･基本的な内容のチェックすると反復練習・指導
○各種テストによる定着度合いの確認と活用
○領域ごとの陥没点の確認と改善点の指導

「主体的に学ぶ生徒を育成する指導の改善」
○知識・技能の「習得」「活用」「探究」を設定した学習活動
○予習－授業－復習の連続して学習指導

各教科の重点事項

国語	数学	英語	理科	社会
・標準学力調査目標 1年70%　2年70%　3年70% ・ノート作りを中心にした基礎的・基本的な内容の定着と個別指導の充実 ・語彙力を高めるための漢字練習の強化と豆テストの実施 ・読む力を高めるための言語活動の工夫	・標準学力調査目標 1年65%　2年65%　3年65% ・数量関係の領域について小中での内容の系統性を意識した指導 ・数学的な見方考え方を育てる場の設定 ・思考力・表現力を高めるための数学的活動の充実	・標準学力調査目標 1年70%　2年70%　3年70% ・予習復習の習慣化で基礎的・基本的な内容の定着と個別指導の充実。 ・表現力を高めるための言語活動の工夫	・標準学力調査目標 1年70%　2年70%　3年70% ・基礎学力定着のための個別指導の充実 ・日常生活体験を重視した教材の工夫と指導の充実 ・数量的処理を補充する指導 ・理科的表現力や思考力を高めるための言語指導の工夫	・標準学力調査目標 1年70%　2年70%　3年70% ・基礎的基本的学力定着のためのワークシートの工夫と自己評価カードの活用 ・興味関心を高めさせるための資料開発

全国学力・学習状況調査の結果から（平成２９年度の調査結果を受けて）
○国語科：基礎、活用ともに全国正答率を上回れるように、読む能力の育成と言語事項の確実な定着を図るために、各単元での指導事項を明確にして、基礎的・基本的な内容を定着発展させる授業を展開する。
○数学科：基礎、活用ともに全国正答率を上回りたい。基礎的・基本的な内容の確実な定着と活用する力を育むバランスのとれた授業の構築。また、知識の意味づけ、具体的事象と日常生活との関連づけを重視する。

Do

1　生徒が「わかる・できる」喜びを感じる授業の実践
・知識・技能の習得と活用を図る学習活動による思考力・判断力・表現力の育成
・予習－授業－復習の必要を持たせた授業展開
・学ぶ意欲を高めるための指導法と評価の改善
⇨ 授業改善の視点を設定しての授業実践

2　授業以外の補充活動の充実
・学力向上タイムの実施　・家庭学習時間の確保（宿題の工夫）
・チャレンジテストの実施　・定着確認シートの実施
・各種検定試験の実施　・学習の手引きの配布と活用
・個別指導の充実　・朝の読書推進

3　家庭との連携（食生活，時間の使い方などの基本的な生活習慣の定着を含め）
・家庭学習記録表の活用　・学校，学年だよりの発行　・学校評価

4　定着確認シート・フォローアップシートの効果的な活用

学力向上への合い言葉（教師用）
①チャイムと同時の授業スタート
②課題の明示とまとめの整合性
③活動的で協同的な学びの導入
④基本的学習習慣の継続的な指導

学力向上へのちかみち（生徒用）
ちかみち
チャイム着席
課題とまとめ
みんなで学ぶ
チェックが大切

Check

各教科
□チャレンジテストの結果の考察
□単元テスト，定期テストの分析
□標準学力調査の分析
□生徒の自己評価内容の分析
□定着確認シートの分析・活用

その他
□学力向上合い言葉の評価
□学校評価の実施と分析
□検証授業における生徒の学びの分析

Action

評価を指導にいかす取り組み
・個に応じた指導
・内容の重点化
・指導計画の見直し
・今年度の反省と課題の検討
・次年度の全体計画の作成